



松笠歌舞伎2024

●松笠ご縁の館市にて●



『エネルギー
文化・スポーツ
財団助成事業』

～雲南市合併20周年
&松笠ご縁の館開館10周年 記念公演～

とき: **11月4日**(祝)

時間: **13時45分頃**～

ステージイベントのひとつとして上演

会場: **松笠ご縁の館**(雲南市掛合町松笠)

演目: **御見得だんまり** 一幕 (詳細は裏面参照)



主催: **松笠振興協議会 文化振興部**

指導・協力: **出雲歌舞伎むらくも座**

◆お問い合わせ先◆

松笠交流センター(松笠ご縁の館内)

TEL 0854-62-0411

◆むらくも座2024 出雲歌舞伎公演◆



とき: **10月20日**(日)

時間: **開場10時 開演10時30分**

会場: **スサノオホール**(出雲市佐田町反辺)

出演演目: **小栗栖の長兵衛**(山崎街道茶屋の場)(詳細は裏面参照)

主催: **島根県地歌舞伎連合会**(出雲歌舞伎むらくも座・松笠歌舞伎)

【チケットは「NPO 法人スサノオの風」で販売中です。☎0853-84-0833】

松笠歌舞伎 2024

おめみえ
◆御目見得だんまり（一幕）

だんまりは、黙り転じてだんまりになったと言われ、暗闇の中をさぐり合いながら争う様を描いたものです。

その背景は、深山幽谷などの人跡途絶えた場で、色々な人物が旗や宝剣、巻物などを手さぐりで奪い合いながら、鳴物に乗って古風にゆったり立ち廻りをします。やがて衣装の引抜きが行われ、百日髪に金糸四天という大時代な扮装の立ち役が杉の木立などで、柱巻きの見得をしたあと幕外になり、六法を踏んで引き込むのが形式となっています。出雲地方に伝わるだんまりは、「お目見得だんまり」「児雷也だんまり」「宮島のだんまり」の要素を取り入れ、立ち廻りを中心に構成されています。

松笠歌舞伎が得意とする演目です。
（上演時間約二十分）

【配役】

自来也 中村貴広
金吾 福場浩一
宮六 横山修一郎
表札 高尾純二・福島 健
番傘 高尾友紀・早水 睦
向い 安食宏和
露払い爺婆 片石喜己・落合成

むらくも座 2024

出雲歌舞伎公演

◆日本振袖始（簸の川大蛇退治の場）

須佐之男尊が大蛇を退治して、稲田姫を助け出す、ご当地物の舞踊劇です。
（上演時間五十分）

◆こども歌舞伎 白浪五人男

（稲瀬川勢揃い）

賊徒の首領日本駄右衛門ほか四人の男が、稲瀬川の土手で捕り手に囲まれるが、それぞれ名乗りをあげ、街道に散らばって行く。須佐小学校三・四年生二十一人が演じます。
（上演時間三十五分）

◆小栗栖の長兵衛

（山崎街道茶屋の場）

明智光秀が小栗栖村のはずれの藪ぎわで竹槍によって落命したという。百姓長兵衛は、自分が竹槍でついたり、羽柴秀吉の家臣堀尾吉晴に申し出て、褒美を受け取りに京へ向かう。（上演時間七十分）

松笠歌舞伎の役者が出演します。

【配役（松笠歌舞伎の役者抜粋）】

百姓三太 伊藤一志
百姓又八 板垣良成
和尚法善 景山健司
堀尾茂助吉晴 金山佳文
従者 片石三郎・福島 健

●松笠歌舞伎の紹介

（農村歌舞伎・松笠素人芝居）

雲南市掛合町松笠地区に隣接する出雲市佐田町は当地区とは昔から交流が盛んであり、大正時代に一人旅の役者が青年たちに歌舞伎の手ほどきをし、それが村芝居となり、瞬く間に広がって、あちこちに一座ができるほど盛んだったようです。昭和の始め、当時は娯楽が乏しかったためか、松笠地区もその影響を受け、佐田町の一座からの援助を得て、農村歌舞伎を演じたのが松笠素人芝居の始まりであったとされています。

しかし、戦後の復興や映画、テレビの普及などによって一時は途絶えていた素人芝居も、昭和四十年代に、ふるさとの良さを見直そうと、当時の青年たちの手で農村歌舞伎を復活させ、昭和四十九年からは、秋の五穀豊穣を祝う天満宮の余興として公演を実施するようになりました。

松笠歌舞伎は、昔の芝居小屋そのものの雰囲気を出しており、芝居を観ながら重箱のご馳走をつつき、お酒を酌み交わしたり、舞台に向かって掛け声や、やじを飛ばしたり、隣に座っている人と話をしたり、昔懐ながらの社交の場であり、客席と舞台が一体となった幻想的な空間です。

歌舞伎小屋仕様の松笠ご縁の館で、いつもは日暮れから約三時間の公演を行い、御花ご披露やお酒を用いて交流を深め、地芝居をしっかりと堪能いただいておりますが、今回は「雲南市合併20周年&松笠ご縁の館開館10周年」を記念した公演として、**短編（約二十分程度）で昼間に開催**いたしますので、ご了承ください。